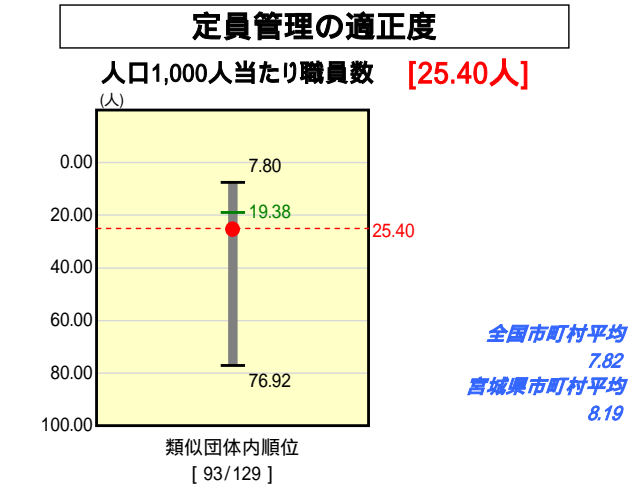
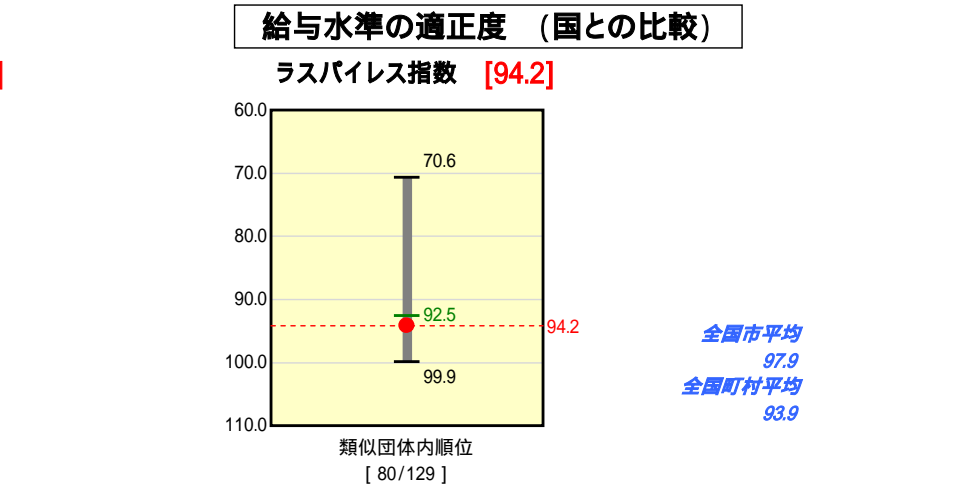
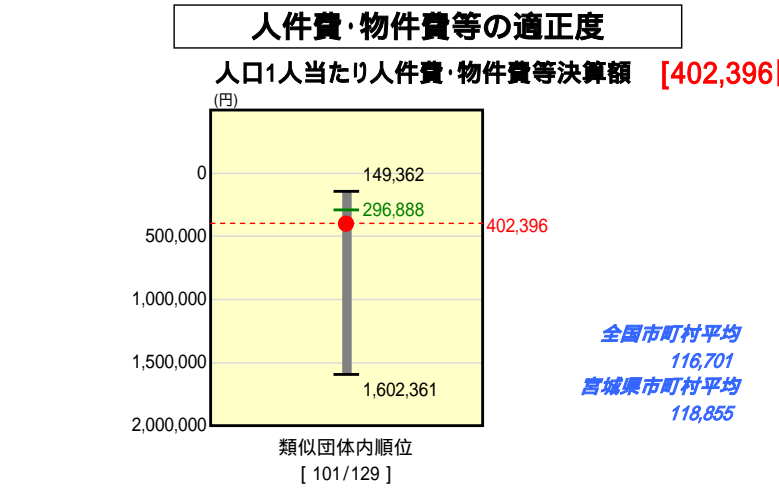
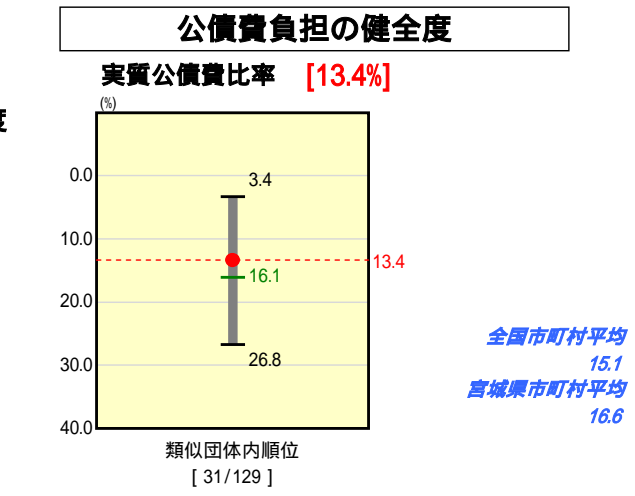
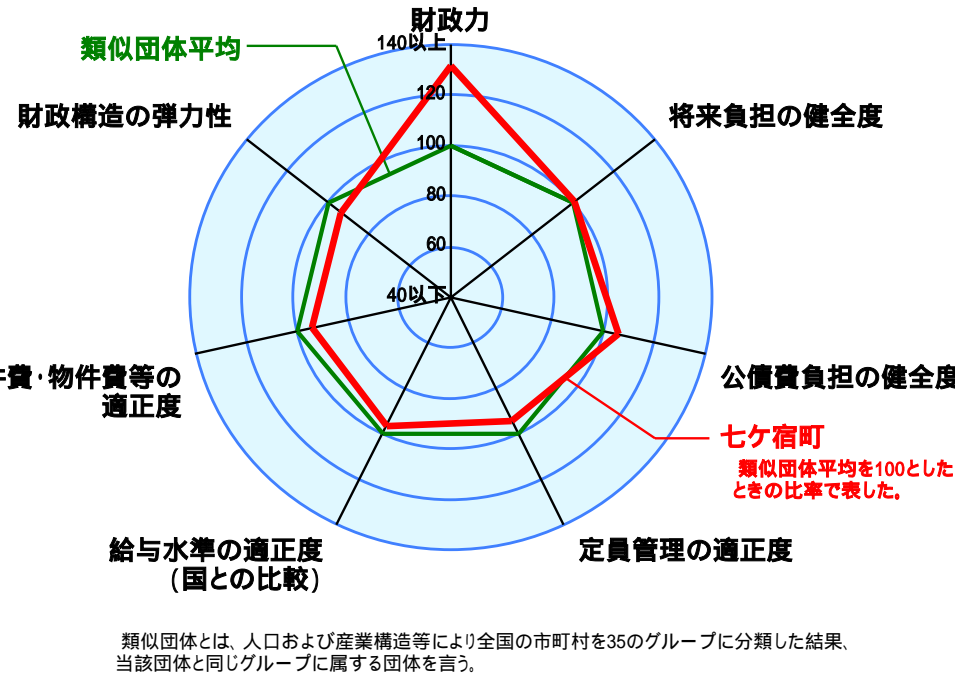
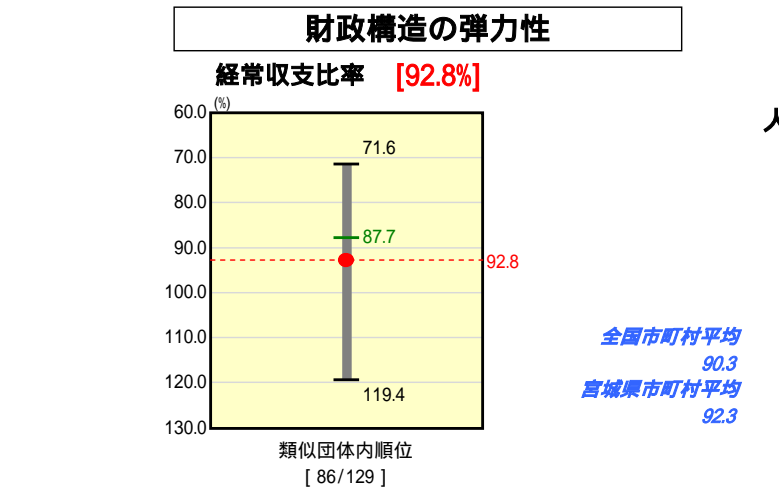
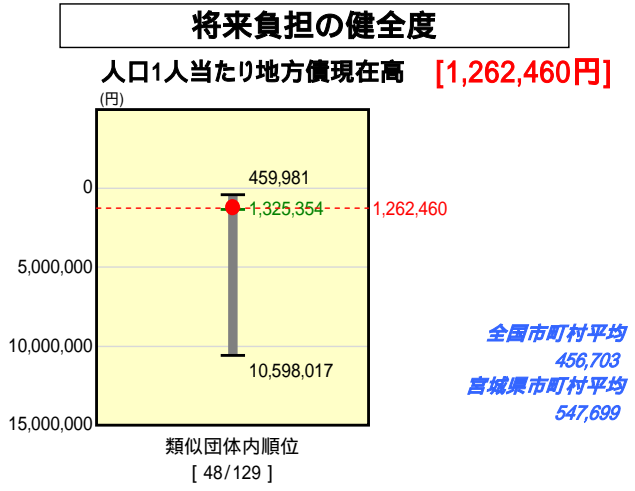
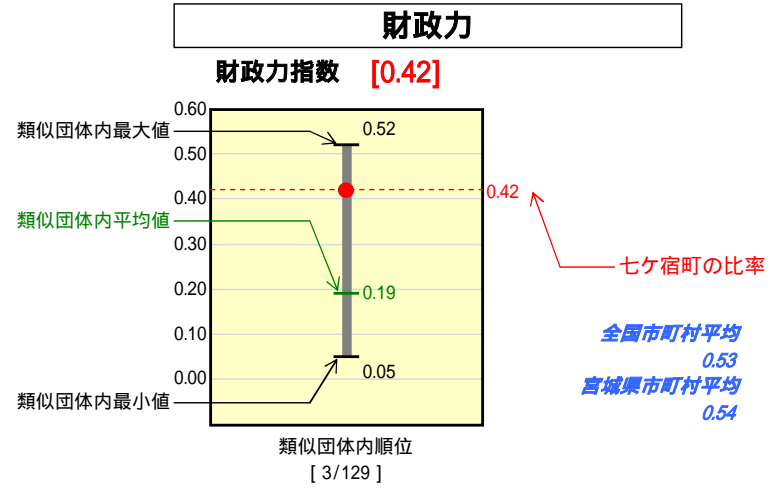


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 宮城県 七ヶ宿町

人口	1,890人	(H19.3.31現在)
面積	263.00	km <sup>2</sup>
歳入総額	2,723,552	千円
歳出総額	2,656,592	千円
実質収支	53,267	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**  
ここ数年で僅かながら連続した伸びとなっており、類似団体平均を上回る0.42となっている。七ヶ宿町を所在することによるダム所在市町村交付金が422百万円と基準財政収入額の大半を占めていることが、類似団体平均を上回る要因となっている。

**経常収支比率**  
昨年と比較しても1.5%上昇している。上昇した要因を見ると物件費、維持補修費で1.1%の増となっている。指定管理者制度の導入による人件費から物件費へのシフトによる増、施設の老朽化による維持補修費が主な要因となっている。今後、適正な定員管理による事務の効率化、民間委託等により、経常経費の削減に努め、類似団体を下回る事を目標とする。

**人口1人当たり人件費・物件費**  
人口1,890人であり類似団体とはいえ人口規模に大きな開きがあるため、平均で比較した場合上回るのは必至である。主に人件費が要因となっているが、収入役廃止、退職者不補充などの効果により、0.4%の歳出削減を行っている。今後も適正な定員管理を実施し、人件費の抑制に努める。

**ラスパイレース指数(給与水準の適正度)**  
平成10年度をピークに職員給与は減少しているものの、ラスパイレース指数を見ると類似団体を1.7ポイント上回っている状況である。給与構造改革が実施されたにもかかわらず上昇している要因として、年功的体系が依然として続いている状況である。今後人事評価による昇給昇格を実施し、適正な定員管理を確実に実行し適正化に努める。

**人口1人当たりの地方債現在高**  
類似団体を僅かに下回っているが、1人当たり126万円は高い数値となっている。今後は事業の適性性、充当率、元利償還金に対して後年度に交付税措置のある有利な事業への配慮など起債対象事業の選択に努め、安易に財源を地方債に求めた計画にならないよう留意し地方債の発行抑制に努める。

**実質公債費率**  
類似団体平均を下回っているものの、町道の改良工事、学校関連施設の耐震化事業により、平成18年度においては4億を超える借入を行っており、今後更に上昇することも懸念されるが、地方債発行額1億円以内とし、起債に頼ることのない財政運営に努める。

**人口1,000人当たり職員数**  
類似団体を6.02ポイント上回っている。指定管理者制度の導入により直営による事務事業を削減すると共に、退職者不補充等により、職員の削減を図る。